

令和7年度事業計画書

自 令和7年 4月 1日
至 令和8年 3月31日

I 公益目的事業

1 研究事業

事業名	事業の内容
沖縄県周辺海域における船舶海難（船舶事故）の特徴と事故防止に関する調査研究	沖縄地方は、大小多数の島々と広大な海域で構成されており、物流は船舶による海上輸送が大半を占め、人流も沖縄諸島や八重山諸島では船舶輸送が主体となっている。 このほか海上レジャーや漁業に伴う小型船舶の活動が活発である。 これらの船舶が航行する沖縄本島から先島諸島にかけての海域では、台風や冬季の季節風による風浪の影響を受けやすい。 また、沿岸にはサンゴ礁による浅所が多数存在し、局地的な積乱雲の発達による天候の急変が発生しやすいことも特徴として挙げられる。 こうした航行環境下において、沖縄周辺ではサンゴ礁による乗揚げ等の船舶海難が毎年のように発生している状況である。 本調査研究は、沖縄県周辺海域における特徴的な航行環境下での船舶海難の傾向とその対応策について調査し、典型的に整理したうえで関係者に周知することにより、沖縄県周辺海域を航行する船舶の安全に寄与することを目的に行うものである。

2 調査事業

事業名	事業の内容
1. 港湾計画改訂に伴う船舶航行安全対策調査研究	港湾計画の改定に伴う船舶交通についての諸問題に係る航行安全対策について調査研究する。
2. 海上工事に伴う船舶航行安全対策調査研究	海上工事に伴う海上交通流の変化等新たに生じる海上交通の諸問題に係る航行安全対策について調査研究する。
3. 船舶大型化に伴う船舶航行安全対策調査研究	船舶大型化に伴う入出港及び着離岸等航行安全対策について調査研究する。

3 情報提供事業

事業名	事業の内容
1. 航行安全支援業務	海上工事に關し、工事付近航行船舶の安全確保及び工事の安全と円滑な遂行のため、工事に関する情報、通航船舶の情報、気象、海象等に関する情報を迅速に収集し、これらの情報を通航船舶及び工事関係者等に速やかに情報提供する。

	更に、ホームページを活用し広く一般に安全情報を広報周知する。
2. 海難防止強調運動の実施	全国海難防止強調運動における運動方針を受け西日本、南九州、沖縄地区の推進連絡会議を開催し、推進方法を企画、策定し、実施する。
3. 海難防止啓発活動	海難防止啓発ポスター及び海難防止関連グッズを作成して啓発活動を支援する。
4. 講習会	① 西海防セミナー 年2回（北九州市、福岡市）、海難防止に関する講演を実施し、海難防止に関する啓発を行う。 ② 安全講習会 海上工事作業従事者に対し、海域の特性等を勘案した講習会を実施する。
5. 広報活動	① 会報の刊行 会務、調査研究の成果等を取りまとめ「公益社団法人西部海難防止協会会報」として会員及び関係者に年4回配布する。 ② ホームページの活用 海事関係者はもとより広く社会一般に広報し、海難防止思想を啓発して、海難防止に資する。 ③ 海事広報展示館での周知宣伝 海事広報展示館（らいぶ館）の展示物を充実させ、海事思想の普及を図り、海難防止活動を実施する。

II 収益目的事業

調査事業

事業名	事業の内容
1. 特定洋上風力に係る船舶航行安全対策調査研究	洋上風力設置に伴う適地エリア、工事中等の船舶航行安全対策を調査研究する。
2. その他の船舶航行安全対策調査研究	上記以外の航行安全対策について調査研究する。
3. LNG 基地に入出港する LNG 船のバースマスター支援業務	LNG 基地に入出港する LNG 船のバースマスター業務（着離れ作業タイムスケジュールの作成や出港時における操船状況の確認等）及び付随する業務を実施する。